



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 浩一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹 (TEL) 03 (6450) 2926
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	5,560	△1.0	2,294	△3.9	54	△84.4	172	△69.5
2025年9月期第1四半期	5,614	37.7	2,386	29.8	346	0.3	565	30.4

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 8百万円 (△94.9%) 2025年9月期第1四半期 175百万円 (△18.9%)

	経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	74	△78.7	7	△95.6	0.48	0.48
2025年9月期第1四半期	350	△1.6	171	△19.7	10.88	10.77

※EBITDA (Non-GAAP) は、財務会計上の数値 (GAAP、日本基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年9月期第1四半期	15,030		6,768		42.5
2025年9月期	15,690		6,746		40.7

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 6,392百万円 2025年9月期 6,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—				
2026年9月期（予想）		—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	20,000	△11.7	8,400	△12.2	△1,000 ～0	—	△350 ～650	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 ー社 (社名)、除外 1社 (社名) 株式会社CLOCK・IT

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期 1 Q	15,822,959株	2025年9月期	15,795,959株
② 期末自己株式数	2026年9月期 1 Q	185株	2025年9月期	185株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期 1 Q	15,808,659株	2025年9月期 1 Q	15,779,028株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善を背景とした賃上げの進展により、個人消費やサービス業を中心に持ち直しの動きが見られ、総じて緩やかな回復基調を維持しました。一方で、物価動向や海外経済の動向等を背景に、企業を取り巻く経営環境の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

労働市場においては、構造的な人手不足の深刻化の影響を受け、企業における人材確保は引き続き重要な経営課題となっています。このような状況のもと、企業では業務効率化・生産性向上に向けた取り組みが一層加速し、DX（デジタル・トランスフォーメーション）やAX（AIトランスフォーメーション）の推進による業務プロセスや業務基盤の変革に向けた取り組みへの需要が高まっています。その結果、エンジニア市場においてはAIやデータを活用した設計・分析・運用等のスキルを持つエンジニアへの需要が拡大しています。一方で、定型的な業務においてもAIの活用が進展しており、エンジニアに求められるスキルの高度化・専門化が進んでいます。

また、個人においては、雇用慣行の変化を背景に、自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方に対するニーズが高まっています。一方で、企業側ではチーム連携やコミュニケーションを重視する観点からオフィス回帰が加速しており、個人と企業の双方にとって最適な働き方を模索する局面にあります。

このような社会・経済環境のもと、当社グループは「個のためのインフラになる」をミッション、「人とテクノロジーが調和する未来を創り、個の幸せと社会の発展に貢献する」をビジョンとして掲げ、フリーランス人材を中心とした人材マッチングサービス及び企業の生産性を向上するDX・AIソリューションを展開しています。2025年12月末時点で登録ユーザー数は760.0万人（前年同期比+73.2万人）、登録クライアント数は108.9万社（前年同期比+6.8万社）となりました。今後も既存事業の成長並びにDXコンサル事業の拡大に引き続き注力してまいります。

既存事業の主軸であるマッチング事業においては、企業におけるAI活用の進展に伴い変化する人材ニーズをとらえ、コンサルティングを通じた付加価値の高いサービス提供により、1社あたりの契約単価向上に向けた取り組みを進めております。また、企業のDXニーズへの対応を強化するため、2025年に発足した新会社クラウドワークスコンサルティングを中心に、グループ全体での事業成長に取り組んでおります。当第1四半期連結会計期間においては、グループ会社のエンジニア採用を集約して採用体制を強化し、DXコンサルの推進に向けた人材投資を進めております。今後もDXコンサルタントおよびエンジニアの採用を継続し、中堅・中小企業を対象に「DXコンサルの民主化」の実現に向け、顧客基盤の拡大に取り組んでまいります。

ビジネス向けSaaS事業においては、大企業や成長企業を中心に従業員の工数を可視化する生産性向上SaaS「クラウドログ」の導入が進んでいます。また、「クラウドログ」により取得した工数データを活用し、経営課題の把握や業務効率改善に向けた提案を行うとともに、正社員コンサルタントおよびフリーランス人材を活用したコンサルティング、開発、RPA導入等を通じたDX支援にも取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高は5,560,133千円（前年同期比1.0%減）、売上総利益は2,294,390千円（前年同期比3.9%減）となりましたが、DXコンサルタント及びエンジニア採用の加速に伴う人件費、採用教育費の増加及びオフィス移転に係る一時費用の発生に伴い、営業利益は54,141千円（前年同期比84.4%減）、EBITDA（Non-GAAP）は172,806千円（前年同期比69.5%減）、経常利益は74,624千円（前年同期比78.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,621千円（前年同期比95.6%減）となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

売上高は5,275,223千円（前年同期比1.3%減）、セグメント利益は116,098千円（前年同期比67.0%減）となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高は250,889千円（前年同期比2.5%増）、セグメント損失は51,470千円（前年同期のセグメント利益は20,354千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は15,030,185千円となり、対前期末比660,605千円減少いたしました。流動資産は対前期末比で1,027,187千円の減少となり、その主な内訳は、現金及び預金が853,454千円、売掛金及び契約資産が100,725千円減少したものであります。固定資産は対前期末比で366,581千円の増加となり、その主な内訳は、有形固定資産が471,325千円増加したものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は8,261,432千円となり、対前期末比683,294千円減少いたしました。流動負債は対前期末比で669,800千円の減少となり、その主な内訳は、未払法人税等が502,154千円、契約負債が108,336千円減少したものであります。固定負債は対前期末比で13,494千円の減少となり、その主な内訳は、長期借入金が137,364千円減少したものの、固定負債のその他に含まれる資産除去債務が123,870千円増加したものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,768,753千円となり、対前期末比22,689千円増加いたしました。純資産の増加の主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益7,621千円及び非支配株主持分が11,150千円増加したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,090,366	7,236,911
売掛金及び契約資産	2,148,181	2,047,456
未収入金	832,477	818,350
その他	436,561	379,481
貸倒引当金	△21,376	△23,177
流動資産合計	11,486,209	10,459,022
固定資産		
有形固定資産	19,913	491,238
無形固定資産		
のれん	3,232,290	3,138,481
その他	1,379	1,182
無形固定資産合計	3,233,670	3,139,664
投資その他の資産		
その他	961,440	950,701
貸倒引当金	△10,441	△10,441
投資その他の資産合計	950,998	940,260
固定資産合計	4,204,581	4,571,163
資産合計	15,690,790	15,030,185
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	597,062	596,761
未払金	1,715,252	1,716,522
未払法人税等	577,786	75,631
契約負債	526,152	417,816
預り金	1,278,075	1,262,191
株主優待引当金	—	39,900
その他	898,745	814,450
流動負債合計	5,593,074	4,923,273
固定負債		
長期借入金	3,315,071	3,177,707
その他	36,581	160,451
固定負債合計	3,351,653	3,338,158
負債合計	8,944,727	8,261,432
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,803,168	2,810,040
資本剰余金	2,907,611	2,914,482
利益剰余金	624,970	632,591
自己株式	△262	△262
株主資本合計	6,335,487	6,356,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,566	35,767
その他の包括利益累計額合計	45,566	35,767
新株予約権	213,087	213,060
非支配株主持分	151,922	163,073
純資産合計	6,746,063	6,768,753
負債純資産合計	15,690,790	15,030,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,614,716	5,560,133
売上原価	3,227,797	3,265,742
売上総利益	2,386,919	2,294,390
販売費及び一般管理費	2,039,955	2,240,248
営業利益	346,963	54,141
営業外収益		
預り金失効益	16,375	18,211
保険解約返戻金	23,834	—
為替差益	20,605	15,934
その他	4,705	11,915
営業外収益合計	65,521	46,060
営業外費用		
支払利息	11,640	12,112
持分法による投資損失	7,560	—
支払手数料	37,968	—
出資金運用損	2,931	13,012
その他	1,933	452
営業外費用合計	62,034	25,577
経常利益	350,449	74,624
特別利益		
新株予約権戻入益	778	—
特別利益合計	778	—
税金等調整前四半期純利益	351,227	74,624
法人税等	169,516	55,852
四半期純利益	181,711	18,772
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,088	11,150
親会社株主に帰属する四半期純利益	171,623	7,621

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	181,711	18,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,774	△9,798
その他の包括利益合計	△5,774	△9,798
四半期包括利益	175,936	8,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,848	△2,177
非支配株主に係る四半期包括利益	10,088	11,150

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	538,749	3,900	542,649	22,422	—	565,071
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	4,803,530	240,713	5,044,244	5,400	—	5,049,644
顧客との契約から生じる収益	5,342,280	244,613	5,586,893	27,822	—	5,614,716
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	5,342,280	244,613	5,586,893	27,822	—	5,614,716
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	490	157	647	—	△647	—
計	5,342,770	244,771	5,587,541	27,822	△647	5,614,716
セグメント利益又は損失(△)	351,739	20,354	372,094	△25,130	—	346,963

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社インゲートの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,574,102千円であります。

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社CLOCK・ITの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては1,001,831千円であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	437,912	700	438,612	29,548	—	468,161
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	4,836,885	250,137	5,087,022	4,950	—	5,091,972
顧客との契約から生じる収益	5,274,797	250,837	5,525,634	34,498	—	5,560,133
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	5,274,797	250,837	5,525,634	34,498	—	5,560,133
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	425	52	478	—	△478	—
計	5,275,223	250,889	5,526,112	34,498	△478	5,560,133
セグメント利益又は損失(△)	116,098	△51,470	64,627	△10,486	—	54,141

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	30,838千円	24,855千円
のれん償却額	137,322千円	93,809千円